

工学・後期
一般・社会人・外国人

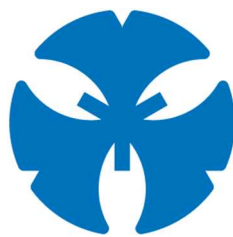
大阪府立大学大学院工学研究科 博士後期課程学生募集要項

2021年度 秋（9月・10月）入学

2022年度 春（4月）入学

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

※出願時には冊子版の学生募集要項が必要です。



2021年4月

大阪府立大学大学院工学研究科

<http://www.eng.osakafu-u.ac.jp/>

目 次

「重要なお知らせ」	1
大阪府立大学大学院 工学研究科 アドミッション・ポリシー	2
学生募集要項	
1. 募集人員	3
2. 入学時期	3
3. 出願資格	4
4. 出願資格審査	5
5. 出願期間等	6
6. 出願書類等	6
7. 入学者選考方法	8
8. 試験	9
9. 合格者発表	9
10. 入学手続	9
11. 学費（入学金・授業料）	10
12. 長期履修制度	10
13. 在留資格（日本国籍を有しない者）	11
14. その他	11
15. 問い合わせ先	11
別表1（博士後期課程 入学試験時間割）	12
工学研究科概要	13
博士後期課程出願書類	頁外

《全選抜共通の様式》

- ・郵便振替払込票（入学検定料払込書）
- ・受験票、写真票、郵便振替払込票貼付台紙
- ・大阪公立大学（仮称）の研究科・専攻・課程・分野等の確認書
- ・履歴書【出願資格審査兼用】

《一般選抜の様式》

- ・入学願書
- ・志望理由書

《社会人特別選抜の様式》

- ・入学願書
- ・研究業績【出願資格審査兼用】
【一般・外国人の出願資格審査兼用】
- ・受講計画及び研究希望調書【出願資格審査兼用】
- ・出願承諾書

《外国人留学生特別選抜の様式》

- ・入学願書
- ・自己紹介書

《出願資格審査の様式》

- ・研究経過報告書（一般）
- ・出願協議申請書（社会人）
- ・出願協議承諾書（社会人）

《外国人留学生特別選抜の英語版の様式》

- ・入学願書
- ・受験票、写真票、郵便振替払込票貼付台紙
- ・大阪公立大学（仮称）の研究科・専攻・課程・分野等の確認書

※ 提出書類は丁寧に、判り易く記入してください。（PC等で作成のうえ、切り貼りも可）

※ 「郵便振替払込票（入学検定料払込書）」、「受験票、写真票、郵便振替払込票貼付台紙」、「入学願書」、「大阪公立大学（仮称）の研究科・専攻・課程・分野等の確認書」以外の様式については本学 Web サイトからダウンロードできます。

【大阪府立大学 HOME > 入試情報 > 大学院入試 > 工学研究科】

「重要なお知らせ」

大阪府立大学は、大阪公立大学（仮称）の2022年4月開学に向けて、文部科学省に設置認可申請中です。このため、2022年度大阪府立大学大学院入学者選抜に合格した皆さまは、この設置が認められた場合、大阪公立大学（仮称）大学院に入学することになります。

したがって、入学を志願される方は、本学 Web サイト（大阪府立大学 HOME>入試情報>大学院入試>工学研究科）に掲載している「大阪公立大学（仮称）への移行先一覧表」を参照し、「大阪公立大学（仮称）の研究科・専攻・課程・分野等の確認書」（本学所定の用紙）を、他の出願書類とともに必ず提出してください。

なお、大阪公立大学（仮称）の設置が認められなかった場合には、大阪府立大学の組織に変更はありませんので、合格者は出願する研究科・専攻・課程・分野にそのまま入学することになります。

大阪府立大学大学院 工学研究科 アドミッション・ポリシー

(博士後期課程)

工学研究科は、いにしへの国際自由都市堺に立地し、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界への雄飛」をモットーに、科学と技術の融合である工学の領域において、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和した科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを基本理念としています。

この基本理念のもとで、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識を持ち、豊かな人間性、高い倫理観、高度の専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上、および文化の創造に貢献できる技術者、研究者の育成を教育研究の理念としています。

このような教育研究の理念の達成・実現に向けて、工学研究科では次のような資質と能力、意欲を持った学生を求めています。

1. 自立した研究者として社会に貢献しようという意欲を持った人
2. 研究成果が人・社会・自然に及ぼす影響について、深く考えながら研究に取り組む姿勢と強い責任感を持った人
3. 新しい科学技術の展開に向けて、主体的、積極的に先導的な工学領域を創生しようとする姿勢と熱意を持った人
4. 特定分野の深い専門知識と周辺分野の幅広い知識を持ち、問題の分析・総合・評価を行い、知識を体系化しようとする意欲のある人
5. 国際的に、研究成果を発信し、研究活動を行おうとする意欲を持った人

以上に基づき、次の1～3の能力や適性を身につけた学生を選抜します。

1. 大学および大学院博士前期課程における理系の基礎的な科目および各専門分野の科目を幅広くかつ深く学び、高い基礎学力および各専門分野の豊かな知識を身につけていること
2. 各専門分野における英文を読んで正確に理解するとともに、自らの研究成果を英文で論理的に表現し、発表するための能力を身につけていること
3. 工学における諸課題を見つけ、それらを体系的に整理するとともに、合理的に解決しようとする高度な能力を身につけていること

学生募集要項

新型コロナウイルスの影響により、出願方法や出願期間その他試験に関するスケジュール等を変更する可能性があります。変更する場合は本学 Web サイトに掲載しますので、随時ご確認ください。

1. 募集人員

専攻	分野	2022年度 春入学 専攻別募集人員			2021年度 秋入学 専攻別募集人員		
		選抜方法			選抜方法		
		一般	社会人	外国人留学生	一般	社会人	外国人留学生
機械系専攻	機械工学分野	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
航空宇宙海洋系専攻	航空宇宙工学分野	4名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	海洋システム工学分野						
電子・数物系専攻	電子物理工学分野	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
電気・情報系専攻	電気情報システム工学分野	11名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	知能情報工学分野						
物質・化学系専攻	応用化学分野	15名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	化学工学分野						
	マテリアル工学分野						
量子放射線系専攻	量子放射線工学分野	3名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

(注意) 各専攻を構成する分野については、それぞれ指導できる人数に限りがありますので、出願時に志望する分野を申告することとなっています。これを入学願書に記入してください。
各分野の内容については、後述の工学研究科概要を参照してください。

本研究科の社会人特別選抜制度は、国公立及び民間の研究機関、教育機関並びに民間企業等の研究者、技術者、教員が在職のままで、職場における研究を継続しつつ、より高度な専門的知識の享受と研究指導を受けることのできる場を提供する制度です。

本制度によって入学を希望する者は、これまでの研究状況、入学後の研究体制（研究指導、受講方法等）について、この要項に基づいて、入学願書提出前までに本研究科の指導を希望する教員と協議し、出願することができます。

2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は「2022年度春（4月）」又は「2021年度秋（9月・10月）」です。出願時に以下の2つの選択肢から希望する入学時期を選択してください。

ただし、「2022年3月に学位を取得見込み（授与される見込み）の者」はa.しか選択できません。

- a. 2022年度 春（4月）入学
- b. 2021年度 秋（9月・10月）入学

3. 出願資格

《一般選抜、外国人留学生特別選抜共通》

次の各号のいずれかに該当する者。外国人留学生特別選抜での志願者は、かつ、日本国籍を有しない者で、在留資格「留学」を有する外国人留学生であること。在留資格「留学」を有しない者は出願できません。ただし、入学時までに在留資格を「留学」に変更できる者は出願できます。

2021年度秋入学を希望する者は、(1)～(8)における「2022年3月31日」を「2021年9月30日」に読み替えるものとする。

- (1) 我が国において、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は2022年3月31日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - (a) 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (b) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日までに24歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

【注意事項】

出願資格(7)、(8)、(9)による志願者は、出願前に「4. 出願資格審査」を受ける必要があります。

《社会人特別選抜》

入学時まで各種の研究機関、教育機関及び民間企業に原則として1年以上正規の職員、社員として勤務し、入学後も引き続き同一機関での業務を継続する研究者、技術者、教員であって、下記のいずれかを満たし、かつ、所属する機関の長の承諾を受けた者。

なお、2021年度秋入学を希望する者は、(1)～(8)における「2022年3月31日」を「2021年9月30日」に読み替えるものとする。

- (1) 我が国において、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者

- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - (a) 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (b) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日までに24歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

【注意事項】

出願資格 (7)、(8)、(9) による志願者は、出願前に「4. 出願資格審査」を受ける必要があります。

4. 出願資格審査

出願資格 (7)、(8)、(9) による志願者は、出願前に次に記載の書類を提出してください。

出願資格審査を受ける者は、**書類を提出する前に志望する分野の教授及び指導を希望する教員に申し出てください。**

(1) 提出書類

	提出書類等	作成方法等	選抜方法		
			一般	社会人	外国人留学生
1	履歴書	・本研究科所定の様式	○	○	○
2	研究業績	・本研究科所定の様式	○	○	○
3	卒業（修了）証明書又は同見込証明書又は在学証明書（最終学歴証明書）	・出身大学等の学長又は学部長等が発行したもの。コピー不可。	○	○	○
4	成績証明書	・出身大学等の学長又は学部長等が発行したもの。コピー不可。	○	○	○
5	研究経過報告書	・本研究科所定の様式	○		
6	出願協議申請書	・本研究科所定の様式		○	
7	受講計画及び研究希望調書	・本研究科所定の様式		○	
8	出願協議承諾書	・本研究科所定の様式		○	
9	在留カードのコピー	・在留カードの両面をコピーしたもの。 ・海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出してください。			○

※本研究科所定の様式については本学 Web サイトからダウンロードできます。

【大阪府立大学 HOME> 入試情報> 大学院入試> 工学研究科】

(2) 受付期間等

受付期間	送付先（問い合わせ先）
2021年5月20日（木）～5月28日（金） 【2021年5月28日（金） <u>必着</u> 】 ※簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。封筒は各自ご準備ください。	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学 入試課 ※封筒の表には「工学研究科出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。 Tel 072-254-8319

上記受付期間内の月曜日～金曜日（土日を除く）の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課（裏表紙地図中のA）に直接提出することができます。**直接提出する場合でも、封筒に入れ、封をして提出してください。**

(3) 審査の結果

本人あて文書により通知します。（2021年6月4日（金）頃に速達・簡易書留郵便で発送）
出願資格認定者には「出願資格認定書」を送付します。

【注意事項】

本研究科から追加書類の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

5. 出願期間等

出願期間	送付先（問い合わせ先）
2021年6月1日（火）～6月15日（火） 【2021年6月15日（火） <u>必着</u> 】 ※本学所定の出願書類送付用封筒（角形2号）を使用し、簡易書留・出願期間内必着で郵送してください。	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学 入試課 Tel 072-254-8319

上記受付期間内の月曜日～金曜日（土日を除く）の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課（裏表紙地図中のA）に直接提出することができます。**直接提出する場合でも、本学所定の出願書類送付用封筒（角形2号）を使用し、封をして提出してください。**

出願手続きを完了した者には「受験票」と「受験心得」を発送します。6月25日（金）頃に簡易書留郵便で発送予定です。7月1日（木）を過ぎても未着の場合は、入試課まで問い合わせください。（Tel 072-254-8319、E-mail：opu_admission_eng@ao.osakafu-u.ac.jp）

6. 出願書類等

志願者は、出願手続前に志望する分野の教授及び指導を希望する教員に申し出た後、下記の書類を全てそろえて提出してください。

※本研究科所定の様式（「入学願書」、「受験票、写真票、郵便振替払込票貼付台紙」、「大阪公立大学（仮称）の研究科・専攻・課程・分野等の確認書」以外の様式）については本学 Web サイトからダウンロードできます。

【大阪府立大学 HOME>入試情報>大学院入試>工学研究科】

※ P.5 の「4. 出願資格審査」を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

出願書類等		作成方法等	選抜方法		
			一般	社会人	外国人留学生
1	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙。 ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。 	○	○	○
	受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙。 			
	写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。 			
	郵便振替払込票 貼付台紙	<ul style="list-style-type: none"> ・【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けてください。 ・入学検定料が振込まれていない場合、【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】が出願書類と共に提出されていない場合、また【同受付証明書】に受付局日附印がない場合は、出願書類は受理しません。 			
2	大阪公立大学(仮称)の研究科・専攻・課程・分野等の確認書 2022年度春入学志願者のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪公立大学(仮称)への移行先一覧表(以下『移行表』)」で、大阪府立大学から大阪公立大学(仮称)への所属組織の移行をご確認いただき、必要事項を記入してください。「移行表」は本学Webサイトからご確認ください。 ・【大阪府立大学HOME>入試情報>大学院入試>工学研究科】※記入した確認書のコピーをとり、お手元に保管してください。 	○	○	○
3	入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料30,000円を郵便局の窓口で、願書受付1週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ・※ただし、本学大学院博士前期課程から引き続き出願する者は、入学検定料は不要です。 ・(注)郵便為替、現金での納付はできません。ATM(現金自動預入払出機)での振込はできません。 	○	○	○
4	履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の様式。 	○	○	○
5	修了(卒業)証明書 又は同見込証明書 (出願資格を証明する書類) 【欄外#参照】	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院の学長又は研究科長等が発行したもの。外国人留学生特別選抜での志願者は、かつ、学位取得(見込み)も明記されているもの。コピー不可。 ・出願資格(6)に該当する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものの合格(合格見込)を証明する書類。 ・P.5の「4. 出願資格審査」により出願資格を認められた志願者は、「出願資格認定書」を提出してください。 	○	○	○
6	成績証明書(学部) 【欄外#参照】	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長又は学部長等が発行したもの。コピー不可。 ・高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。 ・大学に3年次編入学した者は、編入学前に在籍していた教育機関の成績証明書も併せて提出してください。 	○	○	○
7	成績証明書(修士) 【欄外#参照】	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院の学長又は研究科長等が発行したもの。コピー不可。 	○	○	○
8	論文概要	<ul style="list-style-type: none"> ・修士の学位論文の概要又はこれまでの研究の概要。(A4判1,000字程度。英語の場合は500ワード程度) 	○	○	○
9	受験票等送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の受験票送付用封筒(長形3号)を使用してください。 ・送付先の郵便番号、住所、名前を記入し、404円分の切手を貼り付けてください。 	○	○	○

出願書類等	作成方法等	選抜方法		
		一般	社会人	外国人留学生
10 志望理由書	・本研究科所定の様式。	○		
11 研究業績	・本研究科所定の様式。 ・代表的な論文等の別刷り又はその写しを添付してください。		○	
12 受講計画及び研究希望調書	・本研究科所定の様式。		○	
13 出願承諾書	・本研究科所定の様式。		○	
14 自己紹介書	・本研究科所定の様式。			○
15 在留カードのコピー	・在留カードの両面をコピーしたもの。 ・海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出してください。			○

大阪府立大学在学学生（正規生）であって、本学の修了見込証明書及び成績証明書を入試課で代理取得することを希望する者については、出願時の上記証明書の提出を省略できるものとします。出願書類に上記証明書が同封されていなかった場合、入試課での代理取得を希望したものとして取り扱います。

上記対応で支障がある場合は、各自で上記証明書を取得してください。

【注意事項】

- ・出願書類等に不備のあるものは受理できないことがあります。
- ・出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・出願手続きを完了した者には受験票を交付します。
- ・名前が卒業証明書、成績証明書等の名前と異なる場合は、そのことを証する書類（戸籍抄本の写し等）を提出してください。
- ・既納の検定料は次の事由以外は返還しません。
 - 返還可能な事由
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料を払い込みした場合
- ※ 返還方法等は、出願締切日から1ヶ月以内に大阪府立大学入試課に問い合わせください。
- ・障がいがある等、受験上及び修学上、配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課（工学研究科担当）まで申し出てください。Tel: 072-254-8319 E-mail: nyushi3@ao.osakafu-u.ac.jp

7. 入学者選考方法


入学者の選考は、筆記試験、口頭試問及び面接、出願書類などに基づいて、総合して判定します。

また、出願書類などから判断して、筆記試験を免除することがあります。筆記試験免除者は、「口頭試問及び面接」を受験してください。

筆記試験免除者の発表

筆記試験免除者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。Web サイトの掲載期間は、発表日の13時から発表日を含む4日目の18時までです。

なお、電話等による問い合わせには、一切応じません。

発表日時	掲載場所
2021年7月16日（金）13時	【本学 Web サイト（口述試験対象者および筆記試験免除者発表について）】 https://www.osakafu-u.ac.jp/admission/exam_result/object/ 

8. 試験

(1) 試験日 2021年8月25日(水)

(試験予備日) 2021年8月26日(木)

自然災害等の不測の事態により、試験日に試験の実施が困難となった際の予備日とします。

なお、博士後期課程の入学試験日に自然災害等の影響を直接受けない場合でも予備日に試験を実施する場合があります。

(2) 試験科目

ア. 筆記試験

(a) 英語

(b) 専門科目

イ. 口頭試問及び面接

(3) 試験時間割 P.12の「別表1」参照

(4) 試験場所 中百舌鳥キャンパス

試験室については、2021年8月23日(月)13時から、中百舌鳥キャンパスの白鷺門、中百舌鳥門(裏表紙地図中のB、C)に掲示します。

外国人留学生特別選抜においては、試験会場を本学構内以外に設けることがあります。また、遠隔中継による試験を実施することがあります。

9. 合格者発表

(1) 合格者発表

合格者の受験番号を本学Webサイトに掲載します。Webサイトの掲載期間は、発表日の13時から発表日を含む4日目の18時までです。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

発表日時	掲載場所
2021年9月10日(金)13時	【本学Webサイト(合格者発表について)】 https://www.osakafu-u.ac.jp/admission/exam_result/results/ 

(2) 合格通知書及び入学手続書類

合格者には合格通知書とともに入学手続書類を送付(簡易書留郵便)します。

10. 入学手続

(1) 入学の時期

2022年度 春入学	2021年度 秋入学
2022年4月1日(金)	2021年9月26日(日) ※ただし、2021年9月26日から9月30日までの間に入学資格を得る者の入学日は、2021年10月1日(金)になります。

(2) 入学手続

2022年度 春入学	2021年度 秋入学
2021年10月1日(金)～10月7日(木) 【2021年10月7日(木)必着】	2021年9月13日(月)～9月16日(木) 【2021年9月16日(木)必着】

郵送で期間内必着です。ただし、上記受付期間内の月曜日～金曜日(土日を除く)の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階 入試課(裏表紙地図中のA)に直接提出することができます。

手続の詳細については、合格者に通知します。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

11. 学費（入学料・授業料）

(1) 入学料

(甲) 282,000 円	2022 年度 春入学	入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父もしくは母が、2021 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者に適用
	2021 年度 秋入学	入学者本人又はその者の配偶者もしくは 1 親等の親族のいずれかが、2020 年 9 月 26 日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者に適用 ※2021 年 9 月 26 日から 9 月 30 日までの間に入学資格を得る者は、2020 年 10 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者になります。
(乙) 382,000 円	甲以外の者に適用	

(甲) (乙) いずれも改定される場合があります。

入学料は、入学手続きまでに所定の振込用紙にて納付してください。

入学手続き完了後は、入学料を返還しません。

※ 本学大学院博士前期課程から引き続き進学する者は、入学料は不要です。

(2) 授業料

年額 535,800 円 (入学後 年 2 回分納)

在学中に授業料の改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。

12. 長期履修制度

《2022 年度 春入学》

実施の有無を含めた詳細を 2021 年 4 月以降に本学 Web サイトに掲載予定です。

【大阪府立大学 HOME > 入試情報 > 大学院入試 > 工学研究科】

《2021 年度 秋入学》

(1) 趣旨

職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（博士後期課程 3 年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて、計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得できる制度です。

(2) 出願資格

次のいずれかに該当する者は、所定の書類を所定の期日までに提出して、長期履修を出願することができます。

ア. 職業を有する者で、標準修業年限で修了することが困難であると予想される者

イ. 育児、介護などにより、標準修業年限で修了することが困難であると予想される者

ウ. その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると予想される者

(3) 修業年限

長期履修の年限は、博士後期課程の場合は、在学期間の範囲内において、4 年又は 5 年又は 6 年で認められた年限とします。

また、長期履修が認められた後、その理由が解消した場合には、「長期履修短縮許可願」を提出することにより、履修期間を短縮することができます。

(4) 長期履修制度にかかる授業料（年額）

通常の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を、長期履修を認められた期間の年数で除した額になります。

また、長期履修期間の短縮が認められた場合は本来授業料との差額を支払わなくてはなりません。（在学中に授業料改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。）

(5) 長期履修許可願の提出時期

入学願書に併せて提出してください。

(6) 長期履修の許可

長期履修の許可については、決定後連絡します。

(7) 長期履修についての提出書類の請求および問い合わせ先

大阪府立大学 教育推進課 教務グループ 工学研究科担当 (Tel 072-254-7511)

注意：長期履修を出願する者は、事前に指導を希望する教員と相談しておいてください。

13. 在留資格（日本国籍を有しない者）

出入国管理及び難民認定法に基づく在留資格（以下、在留資格という。）「留学」を有しない者が本研究科へ入学を許可された場合には、遅滞なく在留資格「留学」を取得しなければなりません。なお、在留資格「留学」以外で在留を許可されている者は、在留資格を「留学」に変更しなければなりません。ただし、在留資格「永住」「定住」「外交」「日本人の配偶者」等を有する者は、特に手続きをする必要はありません。奨学金等の関係で在留資格「留学」に変更を希望する者のみ、手続きをしてください。

14. その他

- (1) 入学日が10月1日の者も、9月26日から開始している後期の授業を受講することができます。
- (2) 出願にともなう個人情報、選考目的以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (3) 個人別成績の情報提供について
受験者本人からの請求により、入学試験の成績を提供します。
請求期間は、合格者発表日から1年間とします。
詳細については、入試課まで問い合わせてください。
- (4) 自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。 <https://www.osakafu-u.ac.jp/>
- (5) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「大阪府立大学及び大阪府立大学工業高等専門学校安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出及び技術の提供の観点から、厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
詳細については、本学 Web サイトの「安全保障輸出管理」をご覧ください。
https://www.osakafu-u.ac.jp/research/active/academic_support/export_control/

15. 問い合わせ先

〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1番1号

大阪府立大学 入試課 工学研究科担当

Tel 072-254-8319

大阪府立大学 Web サイト（入試情報）

<https://www.osakafu-u.ac.jp/admission/>



専攻	分野	2022年度 春入学及び2021年度 秋入学 2021年8月25日(水)		
機械系専攻	機械工学分野	【9:30～11:00】 英 語	【13:00～16:00】 専 門 科 目	【16:30～】 口頭試問及び面接
航空宇宙 海洋系専攻	航空宇宙工学分野 海洋システム工学分野			
電子・数物 系 専 攻	電子物理工学分野			
電気・情報 系 専 攻	電気情報システム工学分野			
	知能情報工学分野			
物質・化学 系 専 攻	応用化学分野			
	化学工学分野			
	マテリアル工学分野			
量子放射線 系 専 攻	量子放射線工学分野			

(注意) * 試験室については、2021年8月23日(月)13時から、中百舌鳥キャンパスの白鷺門、中百舌鳥門(裏表紙地図中のB、C)に掲示します。

* 試験開始15分前までに該当の試験室に入室してください。

* 筆記試験免除者の口頭試問及び面接の開始時刻は変更になる場合があります。変更する場合のみ、本人あてに連絡します。

* 試験開始後、40分までの遅刻者には受験を認めますので、試験室に入り監督者の指示に従ってください。ただし、試験時間の延長は認めません。なお、遅刻の原因が、試験当日の特別の事情(下記の理由)による場合は、試験開始後60分までは受験を認め、試験時間の延長を認める場合がありますので、監督者まで申し出てください。

1. 交通機関(時刻表を定め運行しているものに限る)が、事故等で「乗車できない状況」又は「降車できない状況」になり、40分以上の延着になったとき。
2. 試験会場に向かう途上での予期せぬ事故及び負傷、発病。

* 試験当日、持参するもの・・・ 受験票、筆記用具

* 時計は計算機能・通信機能のないものとしてください。

* 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に電源を切り、かばんの中に入れてください。

工学研究科概要

【機械系専攻】

機械系専攻では、超大型から超微細領域の幅広い機械分野を視野にいれて、機械システムの高知能化、高精度化、高信頼性化、さらにはエネルギー消費および環境負荷の軽減を実現するものづくり技術を身につけ、国際的に活躍しうる機械系の技術者・研究者を育成する。

本専攻は、機械工学分野の1分野で構成する。

〈機械工学分野〉

職名	名前	主たる研究内容等
教授	石原 正行	弾性数理解析、湿熱弾性学、電気弾性学、グリーンマテリアルの固体力学
教授	大久保 雅章	環境保全工学、環境プラズマ、低環境負荷エネルギー変換、プラズマ材料科学
教授	菊田 久雄	計測工学、応用光学、画像計測、ナノ加工と計測
教授	木下 進一	環境工学、環境熱工学、熱物性、人間熱科学、都市環境システム
教授	新谷 篤彦	振動工学、耐震工学、流体構造物連成振動、アクティブ制振、人間工学、振動利用
教授	須賀 一彦	伝熱工学、乱流モデル、エネルギー機器学、ナノ・マイクロ熱流動システム
教授	瀬川 大資	燃焼学、燃焼診断、内燃機関、宇宙環境利用実験
教授	高比良 裕之	流体工学、キャビテーション、気泡力学、気液二相流、マイクロ・ナノ流体工学
教授	福田 弘和	結合振動子システム、同期制御、パターン形成、複雑ネットワーク制御、植物工場
教授	三村 耕司	材料力学、塑性力学、固体力学、材料強度学、衝撃工学、実験力学
教授	横山 良平	エネルギーシステム工学、最適化、エネルギーマネジメント、分散型エネルギー
准教授	楳田 努	材料力学、固体力学、衝撃工学、動的構造解析、損傷力学
准教授	小笠原 紀行	流体工学、気液二相流、気泡力学、流体計測
准教授	金田 昌之	自然対流、数値流体力学、液滴、磁化力対流、電磁流体力学
准教授	黒木 智之	環境保全工学、非熱プラズマ応用技術、排ガス処理、廃液処理
准教授	桑田 祐丞	乱流工学、数値流体力学、壁乱流、乱流スカラー輸送
准教授	中川 智皓	機械運動学、移動システム、機構学応用
准教授	陸 偉	計算科学、生体医工学、生体材料学
准教授	涌井 徹也	エネルギーシステム工学、性能監視、動特性解析、最適化、分散型エネルギー、自然エネルギー
講師	片岡 秀文	デトネーション、燃焼学、衝撃波、内燃機関
講師	小林 友明	システム制御学、実時間制御、最適制御、制御理論応用、メカトロニクス
講師	中嶋 智也	流体工学、機械工学と製造業技術
講師	水谷 彰夫	計測工学、応用光学、ナノフォトニック・デバイス
助教	安田 龍介	環境工学、大気拡散、大気汚染制御、局地気候
助教	山崎 晴彦	環境保全工学、低環境負荷エネルギー変換、磁気機能性流体、二酸化炭素サイクル

(2021年4月1日 現在)

【航空宇宙海洋系専攻】

航空宇宙工学分野及び海洋システム工学分野の基盤的技術の有機的な連携により、全地球的な視野から、人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和を目指す先端的工学分野を開拓し未来を担い、国際的に活躍しうる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、航空宇宙工学分野及び海洋システム工学分野の2分野で構成する。

〈航空宇宙工学分野〉

航空宇宙工学分野では、同分野の基盤的かつ先端的技術に立脚して、人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和を図るために必要な航空宇宙の先端的工学分野を開拓し、未来を担う人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	小木曾 望	システム工学、信頼性工学、最適設計、宇宙構造システム、宇宙工学、複合材料、モーフィング翼
教授	下村 卓	航空宇宙制御工学、航空機/宇宙機の動力学/運動学/誘導制御、柔軟宇宙構造物の振動制御、数値最適化
教授	千葉 正克 ※	航空宇宙構造工学、薄肉柔軟構造動力学、非線形システムダイナミクス、衝撃吸収
教授	辻井 利昭	航空宇宙航法システム、衛星航法測地工学、航空宇宙情報工学、最適推定
教授	森 浩一	航空宇宙推進工学、熱流体工学、宇宙輸送システム、ビーム推進、プラズマ推進、スペースデブリ
准教授	坂上 昇史	航空宇宙流体力学、空気力学、乱流遷移、乱流制御、超音速混合促進、計算流体力学
准教授	中村 雅夫	宇宙環境工学、数値宇宙プラズマ実験・解析、宇宙天気
講師	金田 さやか	システム制御工学、システム同定、数値最適化、マルチロータヘリコプタ
講師	比江島 俊彦	航空宇宙推進工学、圧縮性流体力学、数値流体力学、渦の不安定性、スクラムジェットエンジン
助教	小川 泰一郎	航空宇宙推進工学、超音速燃焼、燃焼工学、数値流体力学
助教	山野 彰夫	流体構造連成動力学、薄肉柔軟構造動力学、小天体表面探査ロボット

(2021年4月1日 現在)

※印の教員は、2022年3月退職予定です。

〈海洋システム工学分野〉

海洋システム工学分野では、海洋に関わる人工システムと、海という自然システムの両方についての深い理解に基づき、海洋における自然と人間活動の調和を図る総合的な技術開発を担う人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	有馬 正和	海洋システム計画学、ヒューマン・ファクター、海中ロボット工学、海洋政策研究
教授	片山 徹	船舶工学、高速艇工学、海洋工学、浮体運動学、復原性、操縦性、推進性能、耐航性能、水槽試験
教授	中谷 直樹	海域環境モニタリング、海洋環境計測、海洋生態系工学、生態系モデル、海洋資源工学
教授	橋本 博公	海底資源、海洋エネルギー、自律運航船・潜水機、数値流体力学、模型実験、実海域試験
教授	馬場 信弘	海洋環境学、海洋流体力学、マリンエコシステム、海洋循環
准教授	新井 励	海洋環境計測、海洋音響工学、海洋光学、計測工学
准教授	生島 一樹	構造工学、船体構造解析、非線形有限要素解析、大規模数値計算、並列計算
准教授	柴原 正和	溶接力学、FEMによる熱弾塑性解析、画像計測、船舶海洋構造力学、大規模構造解析
准教授	坪郷 尚	造波抵抗、海洋構造物、超大型浮体式構造物、流力弾性
准教授	二瓶 泰範	海洋構造物に働く流体力、渦励振問題、ヨットの設計開発、浮体式洋上風力発電
助教	韓 佳琳	システム制御工学、サスペンションボートの設計開発、船舶の自動運航システム、海底ロボット

(2021年4月1日 現在)

【電子・数物系専攻】

現代工学全般の根幹をなす数理科学の基礎と応用及び、科学技術立国の基盤の一つである電子物理工学に関する知識と展開力を身につけ、国際的に活躍しうる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、電子物理工学分野の1分野で構成する。

〈電子物理工学分野〉

電子物理工学分野では、ナノサイエンスとナノテクノロジーの基礎学理と高度な専門知識を学び、電子物理工学分野の最先端技術を通して高度化するエレクトロニクス社会に寄与する人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	秋田 成司	ナノ固体物性、ナノ材料、ナノ電子物性
教授	石原 一	ナノ光物性、非線形光学理論、量子光学理論、ナノ光機能デザイン、光マニピュレーション
教授	岩住 俊明	X線分光学、光誘起相転移
教授	魚住 孝幸	物性理論、光物性
教授	岡本 晃一	プラズモニクス、ナノフォトニクス
教授	竹井 邦晴	ナノ材料、ナノ電子デバイス、フレキシブルデバイス、双方向会話可能な電子デバイス
教授	戸川 欣彦	スピントロニクス、磁性、超伝導、電子顕微鏡、電子線物理、電磁場応答の制御と操作
教授	内藤 裕義 ※	有機半導体工学、ソフトマテリアル（液晶、高分子）の光物性、電子物性、半導体物性
教授	平井 義彦 ※	半導体プロセス工学、ナノインプリント、マイクロナマシン
教授	藤村 紀文	機能デバイス物性、磁性強誘電体、磁性半導体、スピントロニクスデバイス、機能融合型半導体デバイス
教授	堀田 武彦	非線形動力学、カオス、ベイスン構造、確率共鳴
教授	三村 功次郎	光電子分光、X線分光、固体電子物性、強相関電子系
准教授	有江 隆之	低次元材料、フォノンエンジニアリング、フォノンニック結晶、ナノ熱物性
准教授	安齋 太陽	強相関電子系、電子状態、放射光
准教授	及川 典子	非線形物理、反応拡散系、ソフトマターの物理
准教授	加藤 勝	物性理論、電子相関、遍歴電子の磁性、超伝導
准教授	桐谷 乃輔	集積材料、ナノ材料、ナノエレクトロニクス、有機無機ハイブリッドデバイス
准教授	小林 隆史	高分子材料の光物性、有機材料の固体物理、線形および非線形分光
准教授	穴戸 寛明	超伝導、超伝導ナノ構造体、結晶成長、強相関電子系
准教授	沈 用球	ナノ光物性、固体光物性、結晶成長、多元化合物半導体
准教授	高橋 和	シリコンレーザー開発、フォトニック結晶、シリコンフォトニクス、半導体微細加工、顕微分光
准教授	田口 幸広	正・逆光電子分光、固体表面電子分光、放射光、強相関電子系
准教授	永瀬 隆	有機半導体工学、分子エレクトロニクス、ナノ電子物性、半導体物性、ナノ加工
准教授	野内 亮	電界効果表面科学、ナノ界面制御、原子層デバイス、有機分子デバイス
准教授	安田 雅昭	半導体プロセス工学、電子ビーム工学
准教授	余越 伸彦	ナノ光物性、ナノ構造半導体、量子情報理論
准教授	吉村 武	酸化物エレクトロニクス、機能半導体デバイス、強誘電体
准教授	和田 健司	量子・光デバイス工学、レーザー応用、光計測
助教	高阪 勇輔	磁性、結晶成長、放射光、中性子散乱
助教	芳賀 大樹	非平衡統計力学、物性基礎論、非線形動力学
助教	播木 敦	強相関電子系、第一原理計算、X線分光理論
助教	松山 哲也	量子・光デバイス工学、半導体光物性、レーザー応用

(2021年4月1日現在)

※印の教員は、2022年3月退職予定です。

【電気・情報系専攻】

電気、情報、通信から生産に至るシステムの設計・計画・運用を体系的に教授し、高度情報化社会の要請に応え、国際的に活躍しうる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、電気情報システム工学分野及び知能情報工学分野の2分野で構成する。

〈電気情報システム工学分野〉

電気情報システム工学分野では、電気電子システム、先端的能量システム、情報通信システム、生産システム工学に関する専門知識を持ち、より高度なシステム開発を通して人と地球に優しいトータルネットワーク社会を担う人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	石亀 篤司	電力システム解析・制御、最適化探索法、知的制御
教授	久保田 寛和	光ファイバ通信システム、非線形光学、空間多重光通信
教授	小西 啓治	制御システム、カオス・複雑系、システムダイナミクス
教授	森澤 和子	システム最適化、生産管理、スケジューリング、オペレーションズリサーチ、多目的意思決定
教授	森本 茂雄	モータドライブ、電磁エネルギー変換、パワーエレクトロニクス
教授	山田 誠	情報通信工学、光アンプと次世代ネットワーク、光センシングシステム
教授	林 海	無線通信、信号処理
准教授	井上 征則	モータドライブ、パワーエレクトロニクス、エネルギー変換
准教授	楠川 恵津子	サプライチェーンマネジメント、オペレーションズリサーチ、品質管理
准教授	小山 長規	IP over WDM ネットワーク、光ファイバセンサ、ウェブベースデータ処理システム
准教授	真田 雅之	モータドライブ、モータ設計、電磁界解析
准教授	薄 良彦	電力・エネルギーシステム、応用非線形ダイナミクス、制御システム技術
准教授	原 尚之	制御システム、モデル予測制御、制御応用
准教授	三好 悠司	光ファイバ通信、光信号処理、光 A/D 変換
講師	高山 聡志	電力システムの運用・制御、再生可能エネルギーの運用・制御
助教	池田 佳奈美	情報フォトンクス、光信号処理、光機能システム
助教	江 易翰	エッジコンピューティング、省エネ型ネットワーク、情報鮮度

(2021年4月1日 現在)

〈知能情報工学分野〉

知能情報工学分野では、コンピュータソフトウェア、情報ネットワーク、認識と学習などに関する専門知識を持ち、より高度な知能情報技術の開発を通して成熟した産業立国を担える人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	宇野 裕之	離散構造とアルゴリズム、組合せ最適化、計算複雑さ、データ構造、ネットワーク解析、システムモデリング
教授	黄瀬 浩一	知能メディア処理、文書情報処理、文書画像解析、物体認識、行動解析、学習支援
教授	戸出 英樹	インテリジェントネットワーキング、ネットワーク品質制御、コンテンツ配信制御、ブロードバンドネットワーク
教授	能島 裕介	進化型計算、知識獲得、多目的最適化
教授	藤本 典幸	高性能計算、GPU コンピューティング、離散最適化、グリッドコンピューティング
教授	本多 克宏	データ解析、クラスター分析、知識発見
教授	森 直樹	機械学習、感性工学、ソフトウェア工学、進化型計算
教授	吉岡 理文	知的信号処理、画像処理、パターン検出
准教授	井上 勝文	画像センシング、パターン認識、機械学習、行動認識、ジェスチャー認識
准教授	岩田 基	知能メディア処理、情報セキュリティ、電子透かし、ステガノグラフィ、行動解析、学習支援
准教授	岩村 雅一	知能メディア処理、文字・物体認識、文書画像検索、深層学習、視覚障害者支援
准教授	生方 誠希	データ解析、ラフ集合理論、エージェントシミュレーション、知識発見
准教授	谷川 陽祐	インテリジェントネットワーキング、無線ネットワーク品質制御、無線メディアアクセス制御
准教授	林 利治	データ解析、データ同化、特に、信頼性工学、数理ファイナンス、確率過程における統計的推測
准教授	北條 仁志	信頼性工学、ゲーム理論、オペレーションズ・リサーチ、確率モデル、意思決定
講師	内海 ゆづ子	知能メディア処理、パターン認識、植物画像処理
講師	勝間 亮	センシング、アドホックネットワーク、モバイルコンピューティング
助教	岡田 真	自然言語処理、自然言語理解、知識処理
助教	近藤 大嗣	ネットワークセキュリティ、プライバシー、情報指向型ネットワーク
助教	増山 直輝	クラスタリング、機械学習、ソフトコンピューティング、ロボティクス

(2021年4月1日 現在)

【物質・化学系専攻】

人類社会の持続的発展には新しい材料開発及び有限資源の有効かつ循環的な活用が必要であり、それを可能とする物質の新しい科学と利用技術を創造でき国際的に活躍しうる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、応用化学分野、化学工学分野及びマテリアル工学分野の3分野で構成する。

〈応用化学分野〉

応用化学分野では、無機・物理化学、有機化学、生体関連化学、環境化学、材料化学の体系的な知識に基づき、基礎化学から応用化学にいたる幅広い専門知識を身につけ、応用化学技術の開発を通して社会の発展に寄与する人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	池田 浩	有機光化学、有機電子移動化学、有機典型元素化学、発光化学、有機EL、結晶化学、計算化学
教授	井上 博史	電気化学的エネルギー変換、蓄電デバイス、燃料電池用電極触媒、水素貯蔵
教授	小川 昭弥	ヘテロ原子複合反応系、希土類光還元系、カルボニル化触媒系、酸化触媒系
教授	椎木 弘	生物分析、生体計測、バイオセンサ、分子認識、分子インプリント技術、ナノバイオ材料
教授	林 晃敏	ガラス材料、固体電解質、全固体蓄電デバイス
教授	原田 敦史	生体機能材料学、自己組織化高分子、ナノ医療、ドラッグデリバリーシステム
教授	久本 秀明	マイクロチップ集積化分析システム、化学センシング、オプティカルセンシング、分子認識、キャピラリー電気泳動
教授	松岡 雅也	環境調和型光触媒反応、太陽光エネルギー変換、触媒化学、無機-有機ハイブリッド材料
教授	松本 章一	高分子合成、高分子材料化学、制御ラジカル重合、有機結晶化学、高分子複合材料、機能性高分子材料
教授	八木 繁幸	有機機能化学、機能性色素、有機エレクトロニクス、有機電界発光素子、蛍光材料、りん光材料
准教授	遠藤 達郎	バイオセンサ、ナノフォトニクス、マイクロトータルアナリシスシステム
准教授	岡村 晴之	高分子合成、光機能性高分子、光酸発生剤、高分子の架橋と分解
准教授	亀川 孝	環境触媒、光触媒、機能性薄膜、ナノ空間材料、高性能吸着剤
准教授	児島 千恵	高分子、光機能材料、バイオマテリアル、イメージング、ドラッグデリバリーシステム
准教授	作田 敦	無機材料科学(硫化物)、電極活物質、全固体電池
准教授	定永 靖宗	大気化学、大気汚染物質の長距離輸送、光化学オキシダントとその前駆物質
准教授	末吉 健志	分析化学、分離分析、ミクロスケール電気泳動分析
准教授	竹内 雅人	可視光応答型光触媒、環境浄化、分子分光法、表面濡れ性、触媒反応機構
准教授	知久 昌信	電気化学的エネルギー変換、蓄電デバイス
准教授	床波 志保	バイオセンサ、マイクロ・ナノ構造体、光学分析、金属ナノ粒子
准教授	野元 昭宏	有機合成化学、錯体医薬合成、有機電気化学、ヘテロ元素化学、バイ共役系、ナノ材料科学
准教授	樋口 栄次	燃料電池用電極触媒、ニッケル-水素二次電池、水素貯蔵材料
准教授	堀内 悠	太陽光エネルギー変換、光触媒水素製造、可視光応答型光触媒、多孔性金属錯体
准教授	前田 壮志	機能性色素化学、超分子化学、有機エレクトロニクス材料、分子センサー
准教授	松井 康哲	有機光化学、有機電子移動化学、レーザー化学、発光化学、反応速度論
准教授	弓場 英司	ナノ医療、ドラッグデリバリー、機能性高分子化学、生体材料
講師	太田 英輔	物理有機化学、有機光化学、有機電子移動化学、有機合成化学、機能性 π 共役系
助教	北山 雄己哉	コロイド界面化学、高分子合成化学、ドラッグデリバリー、光反応、分子認識化学
助教	小玉 晋太郎	有機合成化学、金属錯体化学、有機金属化学、酸化反応、金属酸化物クラスター
助教	鈴木 直弥	有機機能化学、機能性色素、機能性 π 電子系、有機合成、有機光化学
助教	鈴木 祥仁	高分子材料、界面物性、高分子複合材料

(2021年4月1日 現在)

〈化学工学分野〉

化学工学分野では、資源循環を総合的に考慮した化学プロセスの構築を基本理念とした化学工学の先端的、体系的知識に基づき、循環型社会の要請に応え得る、専門知識と応用能力を身に付けた人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	岩崎 智宏	資源工学、粉体工学、機能性ナノ粒子、メカノケミストリー、数値シミュレーション
教授	荻野 博康	反応工学、生物化学工学、微生物工学、タンパク質工学、酵素工学
教授	齊藤 丈靖	材料プロセス工学、めっき、CVD反応工学、強誘電体材料、ワイドバンドギャップ材料、半導体デバイス用配線材料のプロセス工学
教授	野村 俊之	微粒子工学、ナノ・メソ材料創製、微生物コロイド、エアロゾル工学
教授	武藤 明徳	分離プロセス工学、機能性炭素材料、マイクロリアクター、吸着、イオン交換、抽出、光触媒
教授	安田 昌弘	環境エネルギープロセス工学、反応工学、生物化学工学、重合工学、生体組織工学
教授	綿野 哲	装置工学、プロセスシステム工学、粉体工学、流動層工学、ナノテクノロジー、計測工学、製剤・薬剤学
准教授	岡本 尚樹	材料プロセス工学、電気化学工学、微小めっき、めっきプロセス（電折、無電解）、材料工学
准教授	許 岩	ナノ化学システム工学、マイクロチップ、1分子化学、1細胞解析、生体材料学、分析化学、ナノメディシン
准教授	仲村 英也	装置工学、プロセスシステム工学、粉体工学、全固体電池、粉体シミュレーション、分子シミュレーション
准教授	堀江 孝史	環境エネルギープロセス工学、移動現象工学、反応工学、プロセス強化、マイクロリアクター、晶析
准教授	山田 亮祐	反応工学、生物化学工学、微生物工学、タンパク質工学、酵素工学
助教	大崎 修司	装置工学、プロセスシステム工学、粉体工学、計算粒子工学、材料工学
助教	沖田 愛利香	環境エネルギープロセス工学、非平衡科学、ナノマイクロシステム、アクティブソフトママター
助教	松本 拓也	反応工学、生物化学工学、微生物工学、タンパク質工学、酵素工学

(2021年4月1日 現在)

〈マテリアル工学分野〉

マテリアル工学分野では、金属、セラミックス、ポリマー材料等広範な材料科学技術を身に付け、最先端の材料開発を通して循環型社会の要請に柔軟に対応できる人材を育成する。

職名	名前	主たる研究内容等
教授	金野 泰幸	高温構造材料、金属間化合物、合金設計、組織制御、塑性加工
教授	高橋 雅英	有機-無機ハイブリッド、自己組織化、ナノ材料、スマート材料、溶液プロセス、電子・光機能性材料、ソフトアクチュエータ
教授	瀧川 順庸	ナノ・アモルファス材料創製、ナノ組織制御、粒界塑性、高温塑性
教授	中平 敦	バイオマテリアル、アパタイト、インターカレーション、触媒材料、ナノセラミックス
教授	沼倉 宏	材料の平衡・非平衡熱力学、結晶欠陥、固体における拡散、力学物性、力学スペクトロスコーピー
教授	Kosmas PRASSIDES	強相関電子系物質、量子磁性、超伝導、ナノカーボン分子材料、光および圧力応答系物質、混合原子価材料
教授	森 茂生	相関電子系物質、誘電体、磁性体、イオン伝導体、電子顕微鏡、ローレンツ顕微鏡
教授	山田 幾也	超高压合成、触媒材料、遷移金属酸化物、結晶構造解析、新物質・材料探索
准教授	池野 豪一	計算材料科学、第一原理計算、マテリアルズインフォマティクス、電子分光、触媒、蛍光体
准教授	石井 悠衣	強誘電体、強相関電子系物質、結晶構造解析、電子顕微鏡
准教授	井上 博之	金属の腐食と防食、電気化学測定、地層処分、余寿命予測、電気化学ノイズ法
准教授	岡田 健司	ナノ材料、多孔質材料、無機材料、有機-無機ハイブリッド材料
准教授	徳留 靖明	固体酸/塩基触媒材料、液相プロセス、界面・コロイド化学、バイオナノテクノロジー、粘土鉱物、層状化合物
准教授	仲村 龍介	固体材料中の原子拡散、アモルファス材料の構造解析、ナノ組織制御
准教授	牧浦 理恵	ナノ材料、有機-無機複合材料、エネルギー材料、薄膜、錯体化学、電子デバイス、多孔性材料
助教	深津 亜里紗	有機-無機ハイブリッド材料、ナノ材料、ソフトアクチュエータ、DNA材料、自己組織化、錯体化学
助教	村田 秀信	バイオマテリアル、リン酸塩系セラミックス、超高压合成、マテリアルズインフォマティクス

(2021年4月1日 現在)

【量子放射線系専攻】

量子放射線系専攻は、放射線やイオン、電子などの量子ビームを様々な分野へ応用する工学分野である。本学の大規模放射線施設を利用した実践的教育を通して、量子放射線に関する高度な科学技術と研究能力を身につけ、放射線の安全文化を理解し、現代社会の発展に寄与する技術者・研究者を育成する。

〈量子放射線工学分野〉

職名	名前	主たる研究内容等
教授	梅澤 憲司	表面科学（低速イオン/原子散乱解析、LEED/AES, STM, RBS/Channeling）、表面分析装置開発、超高真空
教授	川又 修一	超伝導体、磁性体、化合物半導体、磁気測定、電気伝導測定、微細加工
教授	古田 雅一	量子線殺菌工学、微生物制御、食品衛生、量子線応用生命科学、放射線生物学
教授	松浦 寛人	プラズマ理工学、核融合、原子力工学、プラズマ環境応用、放射線安全管理
教授	宮丸 広幸	先進放射線検出器開発、放射線シミュレーション、放射線計測、中性子工学
准教授	秋吉 優史	放射線安全管理、放射線教育、放射線計測、核融合炉ダイバータ材料、宇宙太陽電池、照射損傷、熱物性評価、陽電子寿命計測
准教授	田中 良晴	放射線影響、放射線防護、分子遺伝学
准教授	津久井 茂樹	量子物性科学工学、エネルギー変換材料（燃料電池、熱発電素子、水素吸蔵合金、太陽電池等）、機能性薄膜材料・デバイス
准教授	堀 史説	陽電子科学、格子欠陥、照射効果、水素吸蔵、金属材料、半導体、ナノ粒子、アモルファス金属、機能性材料
助教	朝田 良子	放射線生物学、放射化学、温熱療法、細胞ストレス応答、微生物制御
助教	伊藤 憲男	放射線計測科学、環境放射線学
助教	清田 俊治	多核錯体の合成
助教	小嶋 崇夫	原子カプラント工学、放射線プロセス工学

(2021年4月1日 現在)